

地域に立脚した持続的な畜産業の確立

キーワード 飼料, 家畜, 畜産物



■ 研究概要

これからの日本の畜産業は、輸入飼料への依存度を減らし、国内（地域内）で飼料の生産や堆肥の還元など資源循環を基礎とする持続的で地域に立脚した産業であることが重要です。そして、消費者が支持する国産（地域産）畜産物とは、安全であること、美味しいこと、納得できる価格であること、その生産過程が環境に優しいこと、ではないでしょうか。

私たちは、(1) 低・未利用資源の飼料化、(2) 家畜の飼養管理技術の開発、(3) 畜産物の食味特性の評価を通して「地域に立脚した持続的な畜産業の確立」に貢献します。



■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 未・低利用資源の飼料化を目指して、その飼料特性（化学成分・消化性）を評価します。
- ・ 家畜（ウシ、ブタ、ニワトリ）の飼養管理に関わる技術を開発します。
- ・ 様々な機器による理化学分析や官能評価により、畜産物の食味特性を評価します。

松山 裕城 准教授 MATSUYAMA, Hiroki

専門分野：畜産学

E-mail : matsuyama@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

